



# Komatsu 高校

令和 6 年

## 学校通信

### 3 月

### 自分にとって得意なこと

1 年学年主任 月原 康宏

NHK「プロフェッショナル仕事の流儀」で「世界一の清掃員」と紹介された、新津春子さん。テレビの映像に釘付けになった。新津さんは、中国・瀋陽生まれ。日本に来て、27歳で清掃全国1位に。「世界1清潔な空港」に選ばれた羽田空港で長年、清掃員の責任を務めてきた。彼女は、中国残留孤児2世。父は戦後、幼い時に中国に残った日本人で、母は中国人。先に訪日した父が「日本は自由だ」と言い、17歳の時、家族で日本に移った。中国の小学校では「日本人だ」と石を投げられた。おじさんが仕返しにいくと、いじめはなくなった。でも、日本ではだめ。今の私はいじめられたら覚えておくことが大事だと。いつか相手だけでなく多くの人に認めてもらう。それが、結果仕返しになる。彼女は清掃で認められ倍返した。その後も、日本語が分からずいじめられた。その都度、負けずにそれをばねに頑張った。27歳の時、全国ビルクリーニング技能競技会で1位になった。予選は2位だったが、上司の「優しさが足りない。道具を使った人の気持ちを考えて」と言われ、心を込めて拭き、道具に感謝するようにしたら優勝できた。また、彼女は得意なことを伸ばすことが大切だと。中国で先生や親に「勉強しなさい」と言われても、何のために勉強するのか分からなかった。清掃の国家試験を受ける時にもっと勉強すれば良かったと思った。中学校でもあきらめずに先生に聞けばよかった。勉強がすべてではないが、得意なことを伸ばせば、自信が付き、社会に出てもやっていけると。

皆さんは、部活動や清掃活動など学校生活の中で道具を大切に使っているだろうか。野球でもバットやグローブ、スパイクなど手入れを怠ると運に見放されてしまうことがある。道具を大事に扱えるものこそ一流のアスリートではないか。もう一度、自分自身に問いかけてもらいたい。

高校3年間で、得意なことを1つでもいいから磨いてほしい。好きなことなら一生できる。そのことは、将来、絶対自分のためになる。諦めないで、続けることが大事。伊予聖人近藤篤山の教えに、「立志」という言葉がある。少しのことで満足しないで、その道の第一人者を目指しなさい。皆さんも目指してみては!!

# 令和6年3月行事予定

日	曜	行 事
1	金	卒業証書授与式
2	土	
3	日	
4	月	↓ 1・2年学年末考査最終日
5	火	語の日 40分授業 各種委員会
6	水	水①～②限の授業+入試準備 放送点検(13:00～)
7	木	一般入試 校納金引落
8	金	↓
9	土	
10	日	
11	月	40分授業
12	火	40分授業
13	水	朝清掃 水③～⑥限40分授業
14	木	朝清掃 木④～⑦限40分授業 インターンシップ報告会(普1・2年⑦限は50分) 12:35放課
15	金	金②～⑤限の40分授業+清掃・ワックスがけ
16	土	
17	日	
18	月	①～④限の40分授業 合格発表
19	火	大掃除 表彰伝達 終業式(体育館) HR活動
20	水	春分の日
21	木	春季セミナー(25日まで)
22	金	合格者登校日
23	土	
24	日	
25	月	
26	火	
27	水	離任式
28	木	
29	金	
30	土	
31	日	

